

平成26年度

総合地域学習「千種学」講座の記録



宍粟市立千種中学校

兵庫県立千種高等学校

たたらの里学園運営協議会連絡会

「千種学」教材開発研究会

# 目 次

1	はじめに	喜多 英雄・・・2
2	中学校編	
	(1)平成 26 年度 1 学期総合地域学習「千種学」講座 実施要項	・・・3
	(2)平成 26 年度 2 学期総合地域学習「千種学」講座 実施要項	・・・4
	(3)平成 26 年度 3 学期総合地域学習「千種学」講座 実施要項	・・・5
	(4)総合地域学習「千種学」講座の記録（1 学期～3 学期）	・・・6
	(5)平成 26 年度「第 18 回たたら製鉄学習」の記録	・・・20
3	高等学校編	
	(1)平成 26 年度総合地域学習「千種学」授業の記録	・・・25
	(2)千種学教材「千種高校周辺の歴史文化財」	・・・27
	(3)千種学教材「千種川大水害の記録(昭和 38 年 7 月 11 日)」	・・・33
4	「しそウトピックス」に見る「千種の学校園」	・・・42
5	おわりに	鳥居 政義・・・43

## 1 はじめに

宍粟市立千種中学校  
校長 喜多 英雄

「千種学」は、「千種の自然、歴史、産業を学び、千種に誇りを持ち、千種を伝える力を育成する」ことを目標に、全学年において授業を展開しています。

千種には、森林・水・鉱物などの天然資源に加え、スキー場・ゴルフ場・歴史的文化的遺跡などの観光資源があり、また健康に配慮した付加価値の高い農産物や加工品を生産しています。世界に誇る技術を有し、市場シェアが高い製品を作る企業もあり、手漉き和紙など歴史的文化を継承される方もいます。

ところが、生徒達はこの千種が持つ素晴らしい資源や文化、産業を十分に理解し・把握せずに巣立っていくことが判明しました。そこで、千種を教材とし、地域の方々を講師に迎え、体験的に千種のことを学ぶことが出来る「千種学」を開講した次第です。

今年度は、1学期6講座（主として3年生対象）、2学期8講座（主として2年生対象）、3学期4講座（主として1年生対象）、計18講座実施しました。本講座の実施内容・実践記録についてはあとで詳しく記載していますが、分野は多種多様で、それぞれ興味深い内容となっています。ご覧いただければ幸いです。

年間3回実施している本校の学校運営協議会においても、この「千種学」は高い評価を得ています。学校運営委員の方々からは、「千種学は、様々な体験を通し、『故郷を愛し、故郷へ還る生徒の育成』に繋がっていると思います。今後も、学校・家庭・地域一体となって千種学を展開・継続してくださることを願っています。」という貴重なご意見を頂いています。

来年度も、過去4年間の蓄積を活かし、教職員の心を一つにして、さらに素晴らしい「千種学」となるよう、邁進していくことをお約束してはじめての言葉といたします。

## 2 中学校編

### (1) 平成26年度 1学期総合地域学習「千種学」講座 実施要項

- ① 目的 千種の自然、歴史、産業を学び、千種に誇りを持ち、千種を伝える力を育成する。
- ② 学習スローガン 「千種を知り、千種を愛し、千種に誇りを」
- ③ 対象学年 3年生 32名 2年生 30名 1年生 31名
- ④ 実施状況(1学期)

月 日	主 題	目 標	講 師
5月14日(水) (1年生) (1)	交通安全教育	地元の駐在所の方や地域の交通安全協会の方々を迎え、交通安全の意識の向上を図る。	本庄 勉 柴田警部補 衣笠 智子 交安協千種支部の方々
6月3日(火) (1, 3年生) (2)	中高連携 美化活動	中高生と地域が連携、協力しながら清掃、美化活動をすることによって、校区内の環境問題について考える体験活動を行う。	金本 省二 千種市民局
6月10日(木) (1年生) (3)	茶摘み と 製茶体験	学校農園茶畑での茶摘みから製茶体験(炒る・揉む・乾かす)を通して、千種の農家に伝わる豊かな茶文化を体験する。	松木 富子 寄川 裕子
6月12日(木) (3年生) (4)	学校周辺の文化財から千種の歴史を学ぶ	学校前庭の「河呂大森(弥生)遺跡」、戦国時代の宇野氏にまつわる「お塚さん」、農村歌舞伎舞台を実地調査し、豊かな文化財について学ぶ。	上山 明
6月18日(水) (3年生) (5)	軍師勘兵衛と故郷千種の里	大河ドラマ「軍師勘兵衛」を通して、歴史を学び、故郷を誇りに思う心を育てる。	岩路 昭美
6月27日(金) (3年生) (6)	千種の将来を担う君たちへ	過疎化と少子高齢化が急速に進む千種にあって、将来への夢を育み、生活の場としていける地域の在り方を有機農業を推進する立場から考える。	今井 和夫

## (2) 平成 26 年度 2 学期総合地域学習「千種学」講座 実施要項

- ① 目的 千種の自然、歴史、産業を学び、千種に誇りを持ち、千種を伝える力を育成する。
- ② 学習スローガン 「千種を知り、千種を愛し、千種に誇りを」
- ③ 対象学年 3 年生 32 名 2 年生 30 名 1 年生 31 名
- ④ 実施状況 (2 学期)

月 日	主 題	目 標	講 師
9月9日(火) 11日(木) (2年生) (7)	たたら製鉄学 習(1)(2)  準備	たたら製鉄の準備として、かな流しを行 い砂鉄と砂を分類する。	鳥居 政義 菊川 元 西澤 直彦
10月1日(水) (2年生) (8)	たたら製鉄学 習(3)  知識	「たたらふるさと西播磨」(宍粟鉄を保存 する会作成協力)より、たたら歴史・工程 ・流通を学び、千種町がたたら里である ことを認識し、他地域のたたらと比較しな がら独自性を学ぶ。	鳥居 政義
10月10日(金) (2年生) (9)	たたら製鉄学 習(4)  実習	古来より当地で営まれてきた伝統「たたら 製鉄法」によりたたら製鉄実習をする。千 種鉄保存会の指導のもとで、地元で採集し た砂鉄を使った製鉄実習とたたら製鉄に関 する歴史学習を通して、先人の知恵を学ぶ。	鳥羽 弘毅 堂場 政彦 上山 明 岸陰 吉保 日平 閱次 鳥居 政義 春名 勉
10月15日(水) 10月22日(水) (2年生) (10)	たたら製鉄学 習(5)(6)  まとめ	たたら製鉄学習のまとめとして、感想文集 と班新聞を作成し、その成果を他学年生徒 及び地域発信できるようにする。(校報・ 文化祭での発表)	菊川 元 森本 晃至 高下 愛 西澤 直彦
10月21日(火) (1年生) (11)	絵手紙作り	絵手紙の指導をしていただく地域の野菜生 産者の方から地元の野菜について学び、更 に、栽培した野菜を使って絵手紙を描く。	金本 勉
11月5日(水) (全学年) (12)	ようこそ先輩	千種町出身の歌手で俳優の瀬戸直人(宍粟 観光大使)さんを招き、講演を通して、第 一線で活躍されるまでの道筋や苦労などを 聞き、交流を深めると同時に正しい職業観 を養う。	瀬戸 直人
11月19日(水) (2年生) (13)	千種の植生	千種町は恵まれた自然環境のなかで、豊か な植生を形成している。千種の山々と千種 川周辺の植生を学び、郷土の自然を大切に する心を育てる。	藤原 誠
12月5日(金) (小・中 全学年) (14)	しめ縄づくり	老人クラブの方々の指導のもと、しめ縄を 作ることに伴い、心のふれあいや交流を通 じて、創造的な能力・態度を育てるととも に、千種に伝わる伝統文化を学び継承する 機会とする。	各自治会 老人会長



### (3) 平成 26 年度 3 学期総合地域学習「千種学」講座 実施要項

- ① 目的 千種の自然、歴史、産業を学び、千種に誇りを持ち、千種を伝える力を育成する。
- ② 学習スローガン 「千種を知り、千種を愛し、千種に誇りを」
- ③ 対象学年 2年生 30名 1年生 31名
- ④ 実施状況 (3学期)

月 日	主 題	目 標	講 師
1月27日(火) (1年生) (15)	千種の農村歌舞伎舞台から学ぶ	千種に現存する農村歌舞伎舞台（河呂、岩野辺、下河野）の歴史的意義を学び、保存に尽力する地元住民の願いを知り、地域文化を継承する意欲を高める。	上山 明
2月3日(火) (1年生) (16)	千種材加工	千種の木材を利用して、家庭でも使える「鉛筆立て」を作成する。また、木材加工の知識や技術を身に付け、郷土愛を育む。	木山 昭雄
2月17日(火) (1年生) (17)	新聞の読み方	現役記者から新聞の果たす役割や新聞記事を作成することへの想いを聞き、新聞への興味関心を高め、広く社会に目を向ける姿勢を育てる。	鈴木 雅之
3月3日(火) (18)	地元企業見学	地元企業（株式会社プラントリイ）を訪問し、地元企業が持つ高度な技術を見学し、製造・事業展開で千種が日本・世界に繋がっていることを学ぶ。	鳥居 史郎



#### (4) 総合地域学習「千種学」講座の記録

##### ① 第1回千種学講座

実施日時	5月14日(水) 13:15~15:05
主 題	交通安全教室
授 業 者	本庄 勉(千草駐在所) 柴田警部補(宍粟警察署) 衣笠智子(宍粟市消防) 交通安全協会千種支部の方々
受講生徒	1年生 31名
目 標	地元の駐在所の方や地元の交通安全協会の方々を迎え、交通安全の意識の向上を図る。
学習内容	(1) 普段利用している道路(通学路)に潜む恐怖 (2) 自転車、二輪車や自動車が歩行者に与える甚大な被害 (3) 自転車の点検方法と操作方法について (4) 一般道路での実習
学習記録	(1) 普段、利用している通学路において、なぜ事故が起こるのかを本庄先生により説明して頂き、身近な場面で事故が起こる可能性が十分あることを学んだ。 (2) 柴田警部補より事故が起きた時、加害者側がどのような損害賠償を負うかなどを学んだ。また車両事故が人体に与える影響、一瞬の判断の間違いが一生の問題になることを学んだ。 (3) 校外(通学路)での実習によって通行方法、自転車の点検の仕方を再認識できた。
感 想	<ul style="list-style-type: none"><li>・いつ危険な目にあうかわからないので事故に遭わないように常にアンテナを張り巡らせて気をつけたいと思いました。</li><li>・自転車が危険だということはわかってはいたけど、事故に遭わないためにしないといけないことをたくさん教えてもらいました。乗る前の自転車点検をして、しっかり交通ルールを守って安全に運転したいです。</li><li>・時速40kmで走る車にはねられると12mも飛ばされるという話を聞いてとてもびっくりしました。</li><li>・僕はスクールバスなので学校へは自転車で来ないけど、土日などに自転車に乗るので、しっかり点検をしてから乗ろうと思いました。これからはイーグルアイを意識していきたいです。</li><li>・宍粟市でも多くの方が交通事故に遭っているので、ルールを守って事故が少しでもなくなって欲しいです。自転車を乗るときは教えていただいたことを守って事故に遭わないようにしたいです。人の命を奪うことになるかもしれないので気をつけたいし気をつけてもらいたいです。</li></ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"></div>





## ② 第2回千種学講座



実施日時	6月3日(火) 13:00~15:05
主 題	中高連携美化活動
授 業 者	千種中高教員、千種市民局、金本省二(奥西山自治会長)
受講生徒	3年生 32名 1年生 31名
目 標	中高連携事業、PTCA 奉仕活動の一環として、中高生と地域が連携、協力しながら清掃、美化活動をすることによって、校区内の環境問題について考える体験活動を行う。
学習内容	(1) A班—志引峠、B班—校区内道路および周辺施設を2班に分かれ清掃する。 (2) 商店街・大広場・市民局・JA・エーガイヤ・二宮神社内などを三班に分かれて美化清掃する。 (3) 千種幼稚園・杉の子保育園・ちくさの郷を三班に分かれて草引きをする。
学習記録	(1) A班においては総勢100人体制で志引峠の清掃を行った。清掃を行い美しくなった大自然を目の当たりにし、我が故郷の豊かさを再認識できた。 (2) B班では、校区内の清掃を通して、ゴミの多さに驚きを感じ、今後の生活行動の改善意欲につながった。 (3) 施設の草引きを通し、自らの行動が利用する方々の安全につながり、役立つことを実感できた。
感 想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイ捨てをするのは簡単だけど、ゴミを拾うのはとても大変なことなので、絶対にポイ捨てはいけないと改めて感じました。</li> <li>・ゴミ拾いをやって、地域のゴミを拾って小さなことでも自然を守ることができて良かったです。</li> <li>・今回の活動でだいぶきれいになったけど、こういう美化活動があるってことは、ゴミを捨てる人がいるってことだと思いました。一人一人が意識してゴミを処理しないといけないとおもいました。</li> <li>・ポイ捨てもひどいですが、明らかにここに捨てに来たとわかるようなものまで捨ててあり、拾っていくたびに悲しい気持ちになりました。</li> <li>・志引峠にはたくさん動物や生物が棲んでいます。そこにゴミを捨てると動物たちが困るはずで、それに環境にも悪いからやめなきゃいけません。もっとポイ捨てなどをしないように呼びかけをしないといけないとおもいました。</li> <li>・千種はきれいなところだと思っていたけど、実際はこういう見えないところが汚いのはだめだと思いました。これからは自分たちが捨てたゴミをこうやってしんどくても拾う人がいるんだと言うことを忘れずに生活していきたいです。</li> </ul>
	 





③ 第3回千種学講座

実施日時	6月10日(木) 13:15~15:05
主 題	茶摘みと製茶体験
授 業 者	松木 富子、寄川 裕子
受講生徒	1年生 31名
目 標	学校農園茶畑での茶摘みから製茶体験(煎る・揉む・乾かす)を通して、千種の農家に伝わる豊かな茶文化を体験する。
学習内容	(1) お茶についての歴史や基本的な事柄について学習する。 (2) 学校農園茶畑で実際に茶葉を「摘む」作業から入り、班ごとに協力し合って「煎る」・「揉む」作業を進め、地元の各家庭に伝わる製茶を体験する。
学習記録	(1) 普段何気なく飲んでいる「お茶」も、最初は貴族や僧侶などの限られた人たちの飲み物であったことや、庶民において茶の木の代用として、柳の葉っぱ等を活用していたことを学んだ。千種では、山に行くと地元で「オチャヤナギ」と呼ばれる木が今でもたくさん生えている。 (2) 学校農園(学校裏の茶畑)で、お茶の木の「新芽」を摘む作業から入った。約1時間は「茶摘み」体験。その後、用務員室の大釜で煎り、外で製茶専用の「むしろ」で揉む作業を行った。 (3) 千種では、今でも各家庭でお茶を作っている例が多く、生徒たちは小さな頃からおじいさんやおばあさんからお茶の製法について見よう見まねで教えてもらっていたことを、作業をしながら話したりしていた。
感 想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日初めてお茶摘みを体験しました。葉を摘んでそのまま臭いを嗅ぐと全然香りはしませんでした。摘むとき、黄緑の葉と緑の葉の柔らかさは少し違うなど思いました。次に炒るとお茶の香りがほんのりしました。揉むとさらにいい香りがして夏のお茶が楽しみになりました。</li> <li>・ 茶葉を炒るとき、巨大なお釜がとても熱かったです。揉むのは家では機械でやっていたので、やり方がよくわかりませんでした。上手な子を手本にしてやりました。早く自分たちの摘んだお茶を飲みたいです。</li> <li>・ お茶摘みは初めてだったけどちゃんとできて良かったです。葉は意外と大きかったのでびっくりしました。鍋で炒る作業は熱かったけどちゃんとできたので良かったです。揉んだりするのも大変だったので、私たちのしたことをしている人はすごいなと思いました。家にお茶の葉があればしてみたいと思います。今日はいい体験ができて良かったです。</li> </ul>
	 



④ 第4回千種学講座

実施日時	6月12日(木) 13:15~14:05
主 題	学校周辺の文化財から千種の歴史を学ぶ
授 業 者	上山 明
受講生徒	3年生 29名
目 標	学校前庭の「河呂大森(弥生)遺跡」、戦国時代の宇野氏にまつわる「お塚さん」、農村歌舞伎舞台を実地調査し、豊かな文化財について学ぶ。
学習内容	(1) 千種中学校前庭の竪穴式住居址やその出土品から古代の千種町の姿について考え、歴史のあけぼのの時期について学ぶ。 (2) 「お塚さん」即ち「宇野氏主従墓所」のいわれについて学び、5月に登山した笛石山との関連について考える。 (3) 千種町内各所に点在する石碑や墓石、更にはお寺や神社のいわれに興味を抱き、自ら地元の歴史について考えて行こうとする態度を育てる契機とする。
学習記録	(1) 『千種町史』(昭和58年5月発行)の古代編「ちくさのあけぼの」の資料を基に、大森弥生遺跡から出土したものについて学習するとともに、当時の千種の姿やそれ以前の縄文期の様子について学んだ。 (2) 『播磨国風土記』に記載されている「敷草村」の様子について学び、「百草」「千草」などの言葉とともに千種町が歴史豊かな土地であることを知った。 (3) 豊臣秀吉の播磨攻略の様子について学習するとともに、長水城の落城が宇野氏主従の悲しい結末の始まりであり、更には笛石山の名前の由来ともなったことを学んだ。
感 想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前にも宇野一族として、そのお話を聞いたことがあったのですが「お塚さん」と呼ばれる供養塔があるのは知りませんでした。また、「ごりんさん」は宇宙を表しているとか、4段で造られているのは理由があって空・風・水・火として造られているなど全く知らないことばかりだったのでとても驚きました。</li> <li>・今日の千種学で千種にまた愛着が湧きました。中学校のそばには隅丸方形と呼ばれる竪穴式住居の遺跡があること、昔の偉い人の墓があること、これはとても誇れることだと思います。でもその背景には、多くの戦いがあり、多くの人が死んだということがあります。千種の深さが学べました。</li> <li>・途中で雨が降り出したのは残念でしたが千種についてまた1つ詳しくなることができました。宇野氏の5男・真賢たちが瑠璃寺を再建した話や兄たちを偲び生まれた長水城向きに墓を作った話などにびっくりしました。たくさんの不運が重なってこんな結果になったと思うけど、やっぱり争いは嫌だなと思いました。</li> </ul>
	 

⑤ 第5回千種学講座

実施日時	6月18日(水) 13:15~14:05
主 題	軍師勘兵衛と故郷千種の里
授 業 者	岩路 昭美
受講生徒	3年生 29名
目 標	大河ドラマ「軍師勘兵衛」を通して、歴史を学び、故郷を誇りに思う心を育てる。
学習内容	(1) 軍師官兵衛と信長との関わりについて学ぶ。 (2) 軍師官兵衛と宇野一族との関わりについて学ぶ。 (3) 「お塚さん」「瑠璃寺・真賢」について千種との関わり方を学ぶ。
学習記録	(1) 天下を統一しようとした名将・織田信長の英才ぶりをいち早く見抜くなど、選眼に長ける。また時代の流れに逆らわず、徳川秀吉に仕えたことを学んだ。 (2) 宇野一族と小寺の確執や篠の丸城主の反逆・長水城攻略、内応、焼き討ちまで一連を学んだ。 (3) 瑠璃寺・真賢と長水城との関わりや4万本もの杉の木を人工植林し、様々な被害から守り、再建に大きく貢献したことを学んだ。
感 想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒田官兵衛は、天下を取れるほどのすごい人ということがわかったしそんな人が千種に関わっていたと思うとすごく誇りに思いました。</li> <li>・今日の話は前の千種学の話とつながっていました。宇野一族は敵に追いやられて仲間の助けがあったにもかかわらず自刃してしまいました。少し悲しいことだと思いました。僕は黒田官兵衛が宍粟市に関わりがあったことは知っていましたが、こんなに深く関わっているとは思いませんでした。しかも、あの信長や秀吉とも関わっていることがわかり、社会の授業でやったことがとても身近に感じました。</li> <li>・官兵衛の夢やどういう人物なのかがわかりました。信長との関係を知ることで、信長の本当の姿(イメージでは武力で押し切る、でしたがそうではない)を知れて良かったし、官兵衛の大河ドラマを見てみたいと思った。</li> <li>・信長や秀吉と関わっている人物が、この千種町にも関わっていると知り、びっくりしました。今までドラマの黒田官兵衛は見なかったけど、今日話を聞いてドラマも見てみようと思いました。</li> <li>・僕は最近、姫路市や宍粟市でずっと官兵衛、官兵衛と言っていて実際に本当はどんな人物なのか全くわかりませんでした。話を聞いてよくわかったし、なんか千種にも関係していることでこの千種が誇りに思えました。官兵衛が西播磨を代表する伝説の武士なら、僕は官兵衛よりすごい人になりたいです。</li> </ul>
	 

⑥ 第6回千種学講座



実施日時	6月27日(金) 13:15~15:05
主 題	千種の将来を担う君たちへ
授 業 者	今井 和夫
受講生徒	3年生 29名
目 標	過疎化と少子高齢化が急速に進む千種にあって、将来への夢を育み、生活の場としていける地域のあり方を有機農業を推進する立場から考える。
学習内容	(1) 千種における現在の職業と昔の仕事を学ぶ (2) 世界と日本の農業を学ぶ。 (3) 将来を田舎像について考える。 (4) 日本の将来の姿を見据え、正しい行動・職業選択が求められていることを学ぶ。
学習記録	(1) 昭和35年頃までは農業・林業が盛んで、現在ではいわゆるサービス業が主流であることを知った。 (2) 「関税」というワードが日本や世界の経済にどのような影響を与えているかを知った。 (3) 日本は工業を中心に考え、農業を軽視した傾向がある。その結果、これから田舎と呼ばれる地域がどのような姿になりうるか、また田舎に住む若者がどう行動するのが望ましいかを知った。
感 想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の日本は米価が下がってきています。私たちは朝ご飯などにパンを食べているからと言うことも関係しているのではないのでしょうか。食糧自給率がどんどん下がっていることや日本の現状を知ることができて良かったです。</li> <li>・田舎は大切だなと思いました。輸入ばかり頼ると、相手国がもし輸出できなくなってしまったら困るし、やっぱり日本人として日本産を大切にしたいと思います。食糧自給率が低下すると、田舎は衰退するし、これからは輸入品ばかりになると思うと農業って大切だなと思いました。これから先のことを考えると、都会の便利さよりも食糧自給率をもう少し考えていった方が良くないかなと思いました。</li> <li>・都会生まれが良かったなと都会に憧れたことが何度かあります。でも僕は知らず知らずのうちに自然の恩恵を受けていたことに気づきました。今、僕たちを育ててくれた日本の農業・林業が崩れつつあります。それを支えていくのも僕たちなんだなということを感じました。</li> </ul>
	 





⑦ 第7回・第8回・第9回・第10回千種学講座（詳細は、p.21～p.24）

実施日	9月9日(火)、11日(木)、10月1日(水)、10日(金)、15日(水)、22日(水)
主 題	たたら製鉄学習(1)～(6)
授業者	鳥羽 弘毅、堂場 政彦、上山 明、日平 闊次、春名 勉、鳥居 政義、岸蔭 吉保
受講生徒	2年生 30名
目 標	たたら製鉄学習の概要を学び、たたら製鉄への関心を深め、歴史教材により先人の知恵と技術を学ぶ。また、「宍粟鉄を保存する会」のご指導のもと、地元で採集した砂鉄を使った製鉄実習とたたら製鉄に関する歴史学習を古来よりの製鉄場跡である「天見屋鉄山」で実施する。後日、体験をまとめて発表会を開く。
学習内容	(1) 現在の製鉄と「たたら製鉄」の違いについて学ぶ。 (2) 千種町における「たたら製鉄」の歴史について学ぶ。 (3) 砂鉄の収集から「たたら製鉄」の実習を通じて先祖の知恵と技術を学ぶ。
学習記録	(1) 9月9日・11日に準備として「かなな流し」を行い、砂鉄と砂を分類するとともに天日に干して乾燥作業を行った。また、10月1日には鳥居先生の講義を聞き、現在の西洋式製鉄技術では原料に鉄鉱石を用い、これを燃やすために石炭やコークスを用いているが、「たたら製鉄」においては原料として砂鉄を用い、これを燃やすために大量の木炭を用いていたことを学んだ。また、教材「たたらふるさと西播磨」を用いてたたら歴史・工程・流通を学び、千種町がたたら里であったことや、「天見屋鉄山」を例にとり、たたら場での組織・製鉄の工程、大工場での仕事内容や他地域との繋がり等について学んだ。 (2) 10月10日には、「たたら里学習館」横の広場を会場に「たたら製鉄実習」を行い、「宍粟鉄を保存する会」の方々のご指導のもと、夏休みに自分たちで集めた砂鉄を用いて製鉄実習を行った。 (3) 10月15日・22日には、学習のまとめとして感想文集と班新聞を作成し、その成果を他学年生徒及び地域に発信できるようにした。
感 想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂鉄を炉に入れる作業では、炉の中に均等にまんべんなく入れるのがとても難しかったです。それから、木炭を2回入れて、砂鉄を1回入れるというのを繰り返しました。地道な作業だったけど、やっていくうちに、タイミングやコツをつかんでいって、とても楽しくなりました。</li> <li>・砂鉄や木炭を炉の中に入れる時、とても緊張しました。でも消防団のヘルメットとハッピーを身につけ、軍手もしていたので安全かと思ったのですが、火花が飛んで来て私の髪の毛が少しだけ焼けてしまって、チリチリになっていてビックリしました。砂鉄を入れるのは「千種学」の時間に鳥居先生に教えて頂いたので、思ったより上手に出来ました。</li> <li>・館内学習としてたたら歴史について学びました。砂鉄の呼び方が地域によって違うことや、鉄の神のことなどいろいろ学ばせてもらいました。その神は、犬を作業場に入れてはいけないとか、転んでしまったとか面白い伝説があったので、とても興味を持ちました。</li> <li>・私はこの学習を通して、千種のすごい歴史をたくさん学びました。千種にこんな歴史があったことをはじめて知って、改めて千種はすごくいいところだと思います。こんな体験はもうできないけど、たたら製鉄学習で学んだことや思い出をずっと大切にしていきたいです。</li> </ul>

⑧ 第11回千種学講座



実施日時	10月16日(水) 13:15~15:05
主 題	絵手紙づくり
授 業 者	金本 勉
受講生徒	1年生 30名
目 標	絵手紙の指導をしていただく地域の野菜生産者の方から、地域の野菜について学ぶ。そして、収穫した野菜や果実を使って絵手紙を描く。
学習内容	(1) 地域で採れる野菜について学び、野菜作りの意義についても学ぶ。 (2) 野菜の特徴のとらえ方について学び、描き方のポイントをつかむ。 (3) 野菜や果物・果実を題材にして絵手紙用のハガキに絵を描いていく。
学習記録	(1) 金本先生が用意された、葉やつるのついたサツマイモ、そして鳥居先生が用意された、葉や枝がある柿、かぼちゃ、かりん、白菜をそれぞれ手に取り、千種の里の恵みを再認識した。 (2) 金本先生の模範作品を見ながら野菜や果実の描き方をつかむとともに、どのような表情の絵を描きたいかということについて構想を練った。 (3) 絵筆と絵の具を手にとって、絵手紙用ハガキに果物や野菜の絵を描いていった。形のとらえ方、微妙な色合いの作り方なども学ぶことができた。
感 想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・僕は今日の絵手紙教室でとても勉強になりました。絵手紙はテレビとかでしか見たことがなかったし描いたこともなかったのでとても楽しく描くことが出来ました。「一日一生」という言葉も心に残りました。金本先生、今日は本当にありがとうございました。</li> <li>・今日の絵手紙教室は絵を描くのは苦手だったり手紙の書き方も知らなかったけど野菜を絵にして相手に手紙を送るともらった相手も嬉しいし描き終わったときに見返しても、描いて良かったなど思えるといいなと思いました。今日はありがとうございました。</li> <li>・今日の絵手紙教室で僕はさつまいもの絵を描いて色を塗っている時に絵の具の量のことを教えていただいてすごくよく分かりました。今日教えてくださったことを美術で使えるときがあったらしっかり出来るようにしたいです。今日はありがとうございました。</li> <li>・今日、絵手紙教室で初めて野菜とかの絵を描きました。葉脈のところがとても難しかったです。あまり気にして見てない所がよく見られて良かったです。金本先生はとても上手でうらやましいです。今日はお忙しい中、私たちに教えてくださってありがとうございました。</li> </ul>
	 

⑨ 第12回千種学講座



実施日時	11月5日(水) 13:30~14:35
主 題	ようこそ先輩「夢は見るものじゃない、叶えるもの」
授 業 者	瀬戸 直人
受講生徒	3年生29名 2年生30名 1年生29名
目 標	千種町出身の歌手で俳優の瀬戸直人(観光大使)さんを招き講演を通して第一線で活躍されるまでの道筋や苦労などを聞き、交流を深めると同時に正しい職業観を養う。
学習内容	講演会を聴く
学習記録	(1) 学生時代の生き立ち (2) 芸能界での苦労話、人との出会い(明石家さんま、深作欣二) (3) 働くことの難しさ (4) 夢を諦めない、夢への努力の大切さ (5) ふるさとを想う心を歌った「ふりむけば故郷」を聴く
感 想	<p>・ 私たち3年生は進路を考えなければいけません。私はもう決めています、それを叶えるための努力をしたいなと思いました。後ろばかりを見るのじゃなく前を向いてこれからの未来を生きていきたいと思いました。進路だけではなく、これから先、人生を左右する選択をしなければならないときがあると思います。その時に瀬戸さんのように自分がやってみたいことに正直になってその道に進めたらなと思います。今日のお話は素直に自分の中に入って来たので、考えることが出来ました。今日、自分の中で考えたことを忘れないで過ごしていきたいと思います。今日は本当にありがとうございました。</p> <p>・ 講演会「ようこそ先輩」を聴きました。講師は瀬戸直人さんでした。瀬戸さんは自分の体験談も交えて話をしてくださいました。僕たちの先輩にあのような人がおられると知って驚きました。僕ももう2年生で、来年は3年生なので、もうそろそろ進路とか将来なりたいものを考えないといけないなと今日の講演会の話聴いて思いました。最後に歌ってくださった歌もすごくいい歌でした。僕も将来はあのような立派な人になりたいと思いました。</p> <p>・ 私は、今日の講演会を聴いて、好きなことができる、それはとても嬉しいことであるけど、楽しい中でも苦しいことやしんどいことも隠れているなど私は思いました。私はまだ将来なりたいことやしたいことは、あまりないのですが、自分のやりたいことをやるというのは瀬戸さんの話を聴いて良いことだなと思いました。今日は先輩の話聞いてとても勉強になりました。</p>
	 





⑩ 第13回千種学講座

実施日時	11月19日(水) 13:15~14:15
主 題	千種の植生
授 業 者	藤原 誠
受講生徒	2年生 29名
目 標	千種町は恵まれた自然環境の中で、豊かな植生を形成している。千種の間々と千種川周辺の植生を学び、郷土の自然を大切にする心を育てる。
学習内容	(1) 千種の草木を知る。 (2) 森林の役割を知る。
学習記録	(1) 画像を通して、千種に植生する草花を知る。 (2) 森林(木)が人間に及ぼす(恩恵)役割を知る。 (3) 郷土の自然の素晴らしさに触れ、故郷への愛着を持つことが出来た。
感 想	<p>・今日は私たちのためにありがとうございました。今日、千種の草木などの話を聞いて私は千種の草木に興味を湧かしたし、山などの自然を大切にしなければいけないと思いました。千種の草木の中に名前も知らないものがあったので驚きました。見せていただいた花の画像は綺麗なもののばかりで実際に観てみたいなと思いました。私たちが生きていけるのは木が酸素を作ってくれるからということもしっかり再認識できたのでこれから自然を大切にしようと思いました。</p> <p>・今日、話を聞かせて頂いて、草花を守るために色々な活動をしておられたり、自然を上手く活用したりしておられて、自然の大切さが改めてわかりました。植物は1つ1つ独特な特徴を持っていて、一番印象に残っているのは「オヒョウ」です。変わった名前と形で実際に観てみたいなと思いました。この良い環境で暮らせる私は幸せ者です。本当にありがとうございました。</p> <p>・千種には色々な花、色々な葉があるとは知りませんでした。綺麗なのに毒がある花もあるんだなと思いました。見たことはあるけど名前が分からない花もたくさんありました。わたしは木や草、はな、そして水はとても大切だなと思いました。千種はとても穏やかで、森林に囲まれていて、森林は二酸化炭素を吸って、綺麗な酸素を出してくれるので、気持ちが良いと思いました。自由研究でやってみたいと思いました。忙しい中来ていただきありがとうございました。</p>
	 

⑪ 第14回千種学講座

実施日時	12月5日(金)8時30分～
主 題	ふれあい しめ縄作り
講 師	千種町内各地区老人会クラブの方々
受講生徒	千種小学校・千種中学校全児童・生徒(各自治会単位で実施)
目 標	(1)「こころ豊かな人づくり」「活力ある町づくり」の視点を踏まえ、地域の文化や伝統について学ぶ。 (2)今回は老人クラブの方々の指導のもと、しめ縄をつくることにより、心のふれあいや交流を通じて、想像的な能力・態度を育てるとともに千種に伝わる伝統文化を学び継承する機会とする。
学習内容	(1)自治会ごとに公民館等に集合し、開会式を行う (2)老人クラブの皆様のご指導により、しめ縄作りを行う。 (3)老人クラブの皆様の手料理をいただき、語らいながら昼食をとる。 (4)自治会ごとに交流会を行い、小中交流・異世代交流を楽しむ。
学習記録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縄を「なう」基本的な技、「右なえ」「左なえ」について学んだ。</li> <li>・しめ縄の「めがね型」「ごぼう型」の両方をつくり、お土産として家庭へ持ち帰った。</li> <li>・「わら」の大切さや昔の草履、長靴はわらでできていたこと、そして、それらを各家庭で作っていたことを学んだ。</li> <li>・各自治会老人クラブのおばあさん方の手料理を堪能しながら語り合った。</li> <li>・昔話や遊びを教えてもらい、ゲームをして交流の場を持った。</li> </ul>
感 想	<p>・私は去年のしめ縄作りでは、最後まで出来ませんでした。しかし、今年は上手く作ることが出来ました。老人会のおばあさんやおじいさんが教えてくださったからです。難しい作業でしたが、老人会の皆さんは私たちより数倍速いスピードで作っておられたので「すごいな」と思いました。しめ縄も売ってあるのを買うよりも作って飾った方がいいと思います。お正月に飾るのが楽しみです。</p> <p>・今年は「しめ縄作り」も三年目である程度までは一人で出来るようになりました。今までは教えてもらうばかりだったけど、小学生の子に教えることが出来ました。おじいちゃんやおばあちゃんが優しかったのでとても話しかけやすかったです。毎年恒例のゲームもあり楽しかったです。おじいちゃんやおばあちゃんが子どもたちのことをいつも気にかけてくれているんだということが分かったし、ありがたいことだなと思いました。</p>
	 

⑫ 第15回千種学講座



実施日時	1月27日(火) 13:15~14:15
主 題	千種の農村歌舞伎舞台から学ぶ
授 業 者	上山 明
受講生徒	千種中学校1年生
目 標	千種に現存する農村歌舞伎舞台の歴史的意義を学び、保存に尽力する地元住民の願いを知り、地域文化を継承する意欲を高める。
学習内容	(1) 河呂農村歌舞伎舞台の仕組みを学ぶ。 (2) 河呂農村歌舞伎舞台の歴史を学ぶ。
学習記録	(1) 河呂農村歌舞伎舞台とはどのようなものかを知る。 (2) 舞台の特徴や作りを知る。
感 想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私はこの千種に兵庫県最大の歌舞伎舞台があることを初めて聞き驚きました。たたら製鉄や舞台などすごいものがここにはたくさんあると思いました。それと河呂と千草の大森神社が違うものなのも初めて知りました。伝説も初めて話して頂き、その中の敷草の話で、どうして敷草というのだらうと思っていたけど、神様からの水晶を草に敷いたことからはなっているんだと納得しました。たくさんの方が知れて良かったです。ありがとうございました。</li> <li>・今日の授業で学んだことは、河呂の歌舞伎舞台は知っていたけど県の指定文化財になるほどの建物だとは知らなかったということです。授業で知れたので良かったです。千種の始まりの話を聞いて、神様をまつたことから始まったということが知れました。今日はありがとうございました。</li> <li>・千種にも古くからの伝統を大切にされているんだなと思いました。特に私が一番興味を持ったのは廻り舞台です。床下がこまみたいになっているのが、古くからおもちゃみたいで面白いと思いました。江戸時代からのものだったけど昭和59年大雪で大破してしまったので驚きました。この授業は千種にとってとても大切で、これから私たちが大人になったら今の人たち以上に頑張れたらいいなと思いました。先生、千種の町にとっても私たちにとっても大切なことを教えていただきありがとうございました。</li> <li>・今日の授業で学んだことは、河呂の歌舞伎舞台は知っていたけど県の指定文化財になるほどの建物だとは知らなかったということです。授業で知れたので良かったです。千種の始まりの話を聞いて、神様をまつたことから始まったということが知れました。今日はありがとうございました。</li> </ul>
	 

⑬ 第 16 回千種学講座

実施日時	平成26年2月3日(火) 13:15~15:05
主 題	千種材加工
授 業 者	木山 昭雄
受講生徒	千種中学校1年生
目 標	千種の木材を利用して、家庭でも使える「鉛筆立て」を作成する。また、木材加工の知識や技術を身に付け、郷土愛を育む。
学習内容	(1) 宍粟杉について学ぶ (2) 加工された木材に絵を描く
学習記録	(1) あらかじめ下絵を描いておいたものを実際に描く (2) 1人1人違うデザインの鉛筆立てを作る
感 想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宍粟に宍粟杉という材木があるのを初めて知りました。木山さんはそれを私たちのために切って削ってたくさん準備して下さっていたので大変だったと思います。私は今日木山さんにもらった宍粟杉の鉛筆立てを励みに毎日頑張って生活していきたいと思いました。ずっと大切にしていきたいです。</li> <li>・ 講師の木山さんは僕たちのために1人1人の木をこしらえて、そしてその木に穴を空けて下さっていたのでとっても手間がかかっていると思いました。そして木に絵を描くときは皆とっても上手に描けていたし、僕も上手く描けたので良かったです。楽しくできたしこれも講師の木山さんのおかげだなと思いました。今日は来て下さってありがとうございました。</li> <li>・ 今日やってみて絵を描くのは楽しいなと思いました。私は「カモノハシカモ」を描きました。途中でにじんで上手に描けなかったので残念でした。木山さんは32人分も作って下さったのでこんな短時間によくこんなに作れたなと思いました。こんなすごい人が近所に住んでいることを誇りに思います。</li> <li>・ 鉛筆立てに絵を描くのは表面がポコポコしていたので描きにくかったです。32人分も木の皮を剥いで穴を空けるのはかなり大変だったと思います。でも木山さんの話を聞いてみんなに木のことを知ってもらいたいという思いが伝わりました。千種にある木のことを勉強できて良かったです。もっと知りたいと思いました。今日はありがとうございました。</li> </ul>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>



⑭ 第17回千種学講座

実施日時	平成27年2月17日(火) 13:15~14:05
主 題	新聞の読み方
授 業 者	鈴木 雅之
受講生徒	千種中学校1年生
目 標	新聞の果たす役割や新聞記事を作成することへの思いを聞き、新聞への興味関心を高め、広く社会に目を向ける姿勢を育てる。
学習内容	(1) 新聞記者という職業とは (2) 新聞が社会に与える影響
学習記録	(1) 記者の仕事がどんなものなのかを聞くことで、新聞への興味・関心を高めた。 (2) 新聞は決して大人だけの読み物ではないことを学習した。 (3) 新聞の果たす役割が私たちの生活に大きく貢献していることを学んだ。
感 想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は鈴木さんに来ていただいて、新聞がどのように作られているかななどを教えていただきました。普段あまり読まなかったけど、自分が「へー」と思えるような記事や興味のある記事などを読めば今よりも読む回数が増えて世界の事をもっと知る事が出来ると思います。</li> <li>・私は普段新聞を読まないです。読むとしたら西播の所くらいしか見ないので、新聞に興味を持ってませんでした。でも今日の授業で新聞の仕組みや見出しなど工夫されていて面白かったです。これから新聞をみて興味を持てるようにしたいです。</li> <li>・私は普段、新聞よりもニュースを見る派なのであまり興味を向けた事はありませんでしたが、今日の講座で新聞の詳しい内容や魅力をたくさん知ることが出来、もっと新聞を読んでみようと思いました。これからは国語力アップさせるためにも新聞を読んでみようと思いました。</li> <li>・新聞はとても身近なものだけど、あまり読むことはなかったし今まで興味がありませんでした。でも鈴木先生の話聞いて、新聞の出来方やみだしのことなど、色々な工夫を知ることが出来ました。もっと新聞のことを知りたいと思ったしこれから新聞を読んでみたいなと思いました。</li> <li>・僕は今までスポーツの所しか見ていなかったもので、これからは社会の所と真ん中の所もみたいなと思いました。新聞に興味を持てたので良かったです。面白いことを書いて欲しいです。</li> </ul>
	 

⑮ 第18回千種学講座

実施日時	平成27年3月3日(火) 13:15~15:05
主 題	地元企業訪問(株式会社プラントリイ)
授 業 者	鳥居 宏康
受講生徒	千種中学校1年生
目 標	地元企業を訪問し、地元企業が持つ高度な技術を見学し、製造・事業展開で千種が日本・世界につながっていることを学ぶ。
学習内容	(1) 工場内の見学。 (2) コンピューター室の見学。
学習記録	(1) 工場施設内に入り、株式会社プラントリイが行っている鉄鋼業を見学する。 (2) 機械を前に実演を交え説明を受ける。 (3) コンピューター室を見学し、設計を学んだ。
感 想	<p>・今日は貴重な体験が出来て良かったです。ローソンの裏に工場があるのは知っていたけどどんどこで何を作っているのかは知らなかったけど、今日「展開」という工程から大きな機械で曲げたり穴を開けていることが分かりました。時間がなかったので短い間でしたがとても楽しかったです。</p> <p>・私はプラントリイという会社は何を作っているか分からなかったけど、今日分かったので良かったです。すごい堅い板が90°に曲がっていてすごいなと思いました。思っていたより機械の動くスピードが速くてびっくりしました。千種にこんな高度な技術を持っている会社があるんだなと思いました。</p> <p>・会社の中には、知らない機械がたくさんあってびっくりしました。ところどころ火花が散っていたのでびっくりすることがたくさんありました。コンピューターも使って作業していたのですごいと思いました。千種にこんなすごい会社があるのは嬉しいことだと思いました。</p>
	   

## (5) 平成 26 年度「たたら製鉄学習」の記録

### ① 実施要項

#### 第 18 回「たたら製鉄学習」実施要項

宍粟市立千種中学校

#### 1 目的

- (1) 古来より当地で営まれてきた伝統「たたら製鉄法」を総合的な学習の中の郷土学習として体験学習し、先人の知恵を学ぶ。
- (2) 地元の有識者の指導のもと、自分たちで夏休みに採集した砂鉄での製鉄実験を行い、その歴史や経済・科学等多くを学習する。

2 日時 平成 26 年 10 月 10 日 (金) 8:00～16:00  
予備日 30 日 (木)

3 場所 「たたら」の里学習館」ならびに「天児屋たたら公園」  
宍粟市千種町西河内 1048-38 TEL (0790) 76-3833

4 参加生徒 第 2 学年 30 名 (男子 12 名・女子 18 名)

5 引率教師 喜多英雄 (校長) 菊川 元 森本晃至 高下 愛 西澤直彦

6 講師 鳥羽弘毅 上山 明 日平閲次  
堂場政彦 岸蔭吉保 春名 勉 鳥居政義

#### 7 日程

7:30	学校出発
8:00	たたら」の里学習館到着
8:05	生徒集合
8:10	開講式
8:40	A班:炭切り B班:土だんご作り
9:00	A班:土だんご作り B班:炭切り
9:30	砂鉄投入 (B班)
12:00	昼食休憩
13:00	砂鉄投入 (A班)
15:20	「けらだし」予定
15:30	閉講式
15:40	たたら」の里学習館出発

8 服装 体操服 (穴が空いてもいい古いもの) ウインドブレーカー

9 持ち物 ○軍手 ○タオル ○筆記用具 ○メモ用紙 ○お弁当 ○水筒  
○帽子

#### 10 留意事項

- ① 集合時間を守り、整列・点呼を速やかに行う。
- ② 自分の役割を責任持ってやり遂げる。
- ③ マナーを守る。
- ④ 公共施設、文化財を大切に使う。
- ⑤ 実験炉の炉内温度は 1300 度以上の高温のため、炉の頂上の砂鉄投入口からの雨水侵入により、水蒸気爆発の危険性を伴うので、雨天の場合は専門技師の判断で順延、途中打ち切りの場合がある。



## 11 当日分担

- ・ たたら製鉄作業の安全祈願 (河野先生)
- ・ たたら製鉄指導者 (日平先生・岸蔭先生)
- ・ 製鉄の歴史館内学習指導者 (鳥羽先生・堂場先生)  
10:30 : A班15名 / 13:00 : B班15名
- ・ 天兒屋鉄山跡説明指導者 (上山明先生)  
9:30 : A班15名 / 14:10 : B班15名

- ・ たたら製鉄学習補佐 : 森本
- ・ 館内学習補佐 : 高下
- ・ 館外学習補佐 : 西澤
- ・ 連絡調整(生徒指示) : 菊川
- ・ 開講式 : 菊川 生徒(木山拓希) 司会(藤原胡桃)
- ・ 閉講式 : 菊川 生徒(木山拓希) 司会(藤原胡桃)
- ・ 炉に炭と砂鉄を投入 : 森本
- ・ 写真記録 : たたら製鉄(森本)、館内・館外学習(高下、西澤)
- ・ 緊急車両 : 菊川
- ・ 砂鉄等準備物持ち込み : 鳥居
- ・ 生徒輸送 : マイクロバス25名(森本)、スクールバス5名(高下)
- ・ 学習支援ボランティア : 数名

## 12 事前準備

- (1) 砂鉄を採取し精製(鉄穴流し)し、貯蔵しておく。(夏休み～9月中)
- (2) 副読本「鉄の里・ちくき」で「鉄」の歴史、鉄と千種の関わり、たたら製鉄について概略学習しておく。…質問用紙
- (3) 準備物 : 上皿計量器、受け皿、砂鉄、時程記録用紙、マジック、炭、温度計
- (4) 炉の修理・設置 : 9月中旬～下旬、実施日前日(10月9日)

## 13 事後指導

- (1) 感想文集作成 (総合・千種学 : 3時間程度)

### ② 写真で見る「たたら製鉄学習」



③ 平成26年度「たたら製鉄学習」詳細記録

たたら学習 溶鉱炉 砂鉄投入表				たたら学習 溶鉱炉 木炭投入表				たたら学習 溶鉱炉 炉内温度表			
平成26年10月10日				平成26年10月10日				平成26年10月10日			
回数	投入時刻	砂鉄投入量 [g]	回数	投入時刻	木炭投入量 [kg]	回数	投入時刻	炉内温度(上) [°C]	炉内温度(下) [°C]		
1	9:20	500	31	12:33	1200	37	11:22	511	1020		
2	9:25	500	32	12:44	1200	38	11:26	581			
3	9:33	500	33	12:54	1200	39	11:32		816		
4	9:37	500	34	12:58	1200	40	11:33		883		
5	9:44	500	35	13:06	1200	41	11:39	656			
6	9:50	500	36	13:26	1200	42	11:48		940		
7	10:04	500	37	13:34	1200	43	11:57	715			
8	10:09	800	38	13:44	1200	44	11:58		1034		
9	10:15	800	39	13:48	1200	45	12:06	740			
10	10:19	800	40	13:53	1200	46	12:14		1100		
11	10:25	1000	41	14:00	1200	47	12:20	730			
12	10:33	1000	42	14:08	1200	48	12:25	742			
13	10:40	1000	43	14:12	1200	49	12:33	748			
14	10:44	1000	44	14:16	1200	50	12:44		1116		
15	10:51	1000	45	14:22	1200	51	12:54	740			
16	10:57	1000	46	14:29	1200	52	12:58	811			
17	11:02	1000	47	14:36	1200	53	13:06				
18	11:07	1000	48			54	13:26				
19	11:12	1000	49			55	13:34				
20	11:22	1000	50			56	13:44				
21	11:26	1000	51			57	13:48				
22	11:32	1000	52			58	13:53				
23	11:38	1000	53			59	14:00				
24	11:41	1000	54			60	14:08				
25	11:48	1000	55			61	14:12				
26	11:55	1000	56			62	14:16				
27	12:05	1000	57			63	14:22				
28	12:14	1000	58			64	14:29				
29	12:20	1200	59			65	14:36				
30	12:25	1200	60			66					
		合計		46.7 kg				697.4		1011.3	

回数	投入時刻	砂鉄投入量 [g]	回数	投入時刻	木炭投入量 [kg]
1	8:03	3	37	11:22	4
2	8:05	3	38	11:26	5
3	8:06	3	39	11:32	2
4	8:07	2	40	11:33	4
5	9:00	2	41	11:39	4
6	9:03	2	42	11:48	4
7	9:04	2	43	11:57	6
8	9:06	2	44	11:58	2
9	9:07	2	45	12:06	6
10	9:08	2	46	12:14	4
11	9:09	2	47	12:20	5
12	9:10	2	48	12:25	4
13	9:12	2	49	12:33	4
14	9:21	2	50	12:44	6
15	9:22	2	51	12:54	2
16	9:29	4	52	12:58	2
17	9:35	2	53	13:06	2
18	9:43	2	54	13:26	4
19	9:48	2	55	13:34	6
20	9:51	2	56	13:44	4
21	10:03	6	57	13:48	2
22	10:06	2	58	13:53	2
23	10:10	2	59	14:00	2
24	10:11	2	60	14:08	2
25	10:16	4	61	14:12	2
26	10:21	4	62	14:16	2
27	10:27	2	63	14:22	2
28	10:28	2	64	14:29	2
29	10:34	4	65	14:36	2
30	10:41	4	66		
31	10:45	4	67		
32	16:52	4	68		
33	10:57	4	69		
34	11:03	6	70		
35	11:07	4			
		合計		203 kg	


  

回数	投入時刻	砂鉄投入量 [g]	回数	投入時刻	木炭投入量 [kg]
1	9:09		16		
2	9:44		17		
3	9:52		18		
4	10:18		19		
5	10:21		20		
6	10:50				
7	10:53				
8	11:25				
9	11:28				
10	12:20				
11	12:54				
12	13:46				
13	14:10				
14	14:15				
15	14:48				
16					
17					
18					
19					
20					
平均				697.4	
				1011.3	

火入れ時間 8時52分

記録者 A班: 田中 亜季、平田 萌々香  
B班: 田中 佐季、西垣 怜奈



上表は、「たたら製鉄」の克明なる記録であり、砂鉄と木炭の投入量、更に時々刻々の温度変化を示している。故に、今年度で18回目を数える全国的にも珍しい中学生による本実習は、地域の貴重な歴史文化の継承活動であるとともに、壮大なる科学実験の側面をも有しているのである。



### 3 高等学校編

#### (1) 平成 26 年度総合地域学習「千種学」授業の記録

千種高校は、「千種学」を体系立てて実施しているわけではないが、各学年の「総合的な学習の時間」やアクティブコースにおける「地域貢献」の授業、そして今年度商店街空き店舗を活用して展開した「千高街の駅」等における地域での諸活動が、結果的には「千種」への理解を深め、「千種」への愛着を育む「高校版千種学講座」であったと考えている。

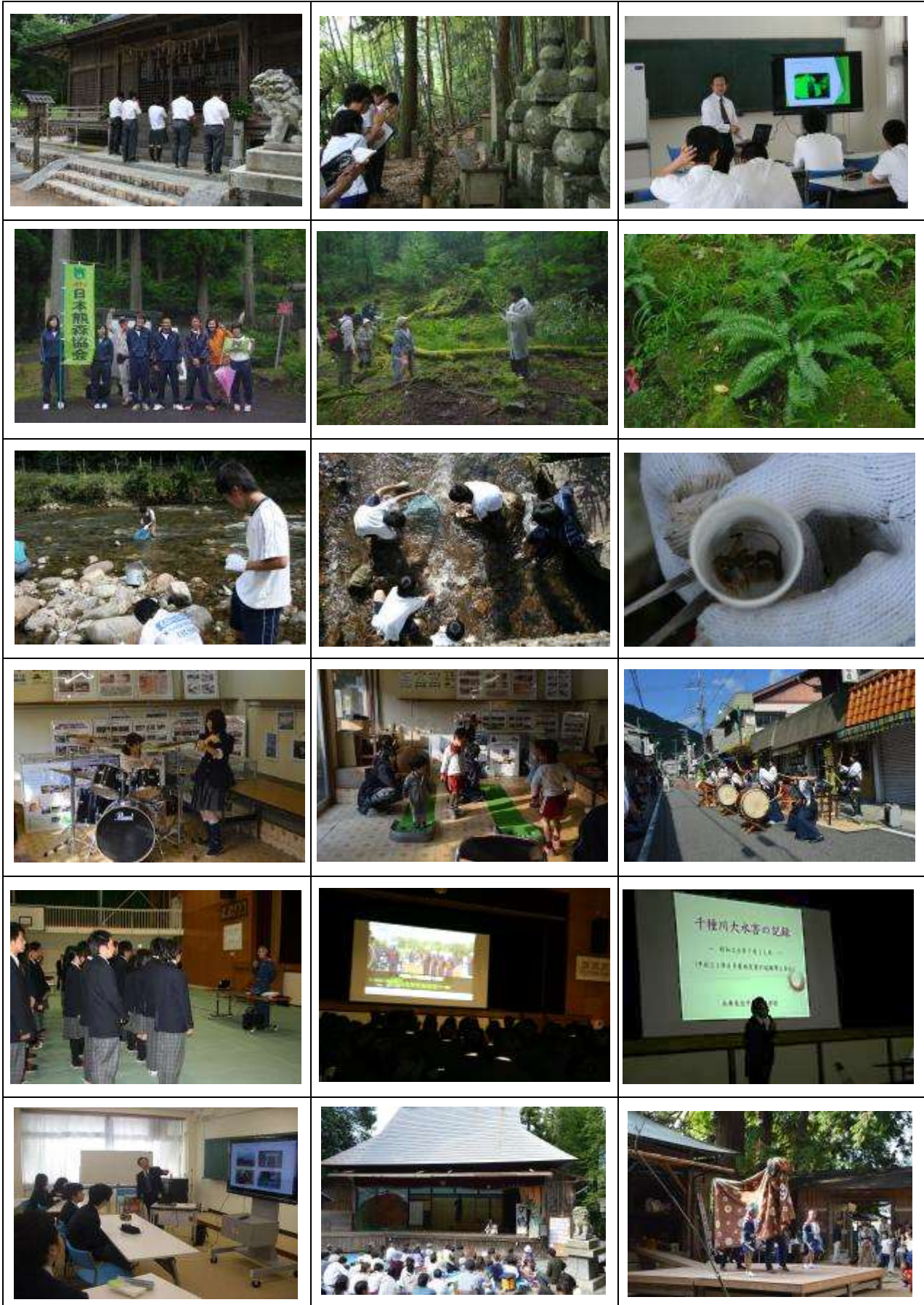
また、本年度千種高校では「千種学」教材開発研究会の面目躍如たらんと欲して、2つの教材を作成した。一つは、千種高校を中心として町内に点在する神社等数々の歴史文化遺産はもとより、豊かな自然、色とりどりの花々、そして世界に誇る製鉄技術「たたら」の故郷を特集した「千種高校周辺の歴史文化財」。今一つは、昭和 38 年 7 月の「千種川大洪水」を中心に近代における千種の水害史をまとめるとともに、まだ記憶に新しい平成 21 年 8 月の豪雨災害をも記録した教材、「千種川大洪水の記録」である。

以下、千種高校において本年度に展開した「千種学」関連授業等の概要である。

- ① 6 月 17 日(火) 「千種高校周辺の文化財から千種の歴史を学ぶ」・「ホタルの生態」  
(アクティブコース 2・3 年生 約 20 名)  
「河呂大森神社の農村歌舞伎舞台」や戦国時代の長水城主宇野氏にまつわる「お塚さん」に赴き、豊かな歴史文化財について学んだ。また、千種町内で多く見られるゲンジボタルや三室高原及び船越村あたりで確認されているヒメボタルの詳しい生態について学習した。
- ② 8 月 3 日(日) 「若杉原生林ツアーサブリーダー活動」(生徒会役員 2 年生 6 名)  
環境保護団体として有名な「日本熊森協会」(本部西宮市)主催の「原生林ツアー」に、サブリーダーとして参加し、地元の高校生代表として阪神間からの参加者約 50 名に対して植物や山中にある古代のたたら遺跡等についての解説を行った。
- ③ 9 月 27 日(土) 「千種川水生生物調査」(1・2 年生 10 名)  
千種町内数カ所の千種川で水生生物のサンプル収集及び環境状況調査を実施し、地域の環境変化や現在の状況について学び、今後地域の自然環境をいかに守っていくべきかということについて考えた。
- ④ 10 月 26 日(日) 「千種太鼓商店街路上公演・他」(1・2 年生 約 50 名)  
千種市民局主催のイベント「ちくさふれあいフェスタ 2014」の中で、商店街空き店舗を活用した「千高街の駅」で本校の特色ある部活動(ライフル射撃・ゴルフ・軽音楽バンド・ボランティア)を紹介するとともに、路上に太鼓を並べて演奏し地域活性化の起爆剤としての「千種太鼓」を披露した。
- ⑤ 11 月 2 日(日) 「千種の水害史について学ぶ」(全校生 99 名)  
全校生参加の防災避難訓練を実施するとともに、本年度作成教材「千種川大洪水の記録」を活用して 50 年前の千種川大洪水の様子や現在の町並との比較、そして平成 21 年 8 月の豪雨災害の折りの状況について学び、地域に根差した防災意識の啓発を図った。
- ⑥ 11 月 25 日(火)・1 月 20 日(火) 「千種高校周辺の歴史文化財」(2・3 年生 20 名)  
アクティブコース「地域貢献」の授業において、本年度作成教材「千種高校周辺の歴史文化財」を活用し、千種町内各地区の神社・3 種類の「お塚さん」・千種ならではの「一里堂」・千種の山々や季節ごとの花々・たたら製鉄の歴史等について学んだ。



【写真で見る高校版「千種学」講座・活動】





(2) 千種学教材「千種高校周辺の歴史文化財」(平成26年7月制作・11月改訂)

千種は、豊かな自然は勿論、歴史や文化遺産の宝庫である。ある意味では、柳田國男の描く遠野にも匹敵するだけの地域であると考えている。その様子が見童・生徒たちに少しでも伝わればとの想いで制作したのがこの教材である。

千種高校周辺の  
歴史文化財

高平県立千種高等学校  
平成26年11月制作

### 1 千種高校

「千種高校周辺の歴史文化財」と銘打つならば、千種高校の校舎そのものを見ずして周辺の歴史数葉に出かけることはできないであろう。今年で創立66年、平成30年を以て70周年を迎える本校こそが千種近代史の語り部であり、季節ごとの彩りに染まれたこの学び舎が私達の心の拠り所となっているのである。

春

秋の季節

千種高校の校訓は「自立 信愛」である。昭和55年2月25日に制定され、校訓碑は昭和61年3月に定年退職を目前にされていた第3代校長飯本玉男先生が揮毫され、建立された。第1回卒業生のガクの卒業記念碑として、今も本館西の屏山庭園に真西ではなく妙見社や日名倉山の方向を向いて立っている。

校訓碑 (6月初旬)

夏

千種高校の庭園は、春夏秋冬どの季節を隔っても美しい。平成3年、テニスコートが中庭となり、ケヤキやアメリカハナミズキ、ニシキギ、フツギ等を中心に植栽が為され、今に至っている。真には珍しい白樺の欄も見えている。然し、四季の中で最も美しく凛とした姿を見せるのは冬の雪化粧の折りではないか。観音堂やグラウンドから見える冬の三笠山と共に、私たちの心を洗い清めてくれるのが大きな魅力である。なお、「自主敬愛の道」の碑が見えるが、昭和32年2月に第4代校長上山啓先生によって揮毫され、千種ライオンズクラブによって贈られた。建立当初は最奥のケヤキの位置に南向きに建てられていたが、上記中庭造営の折りに現在の位置に移され、東向きに建てられたものである。

秋

冬

### 2 町内のおもな神社

(1) 千草大森神社

大森の段(真に八景山、右奥は楯形山)

大森神社参道

本 殿

秋祭り子供神輿巡行

(2) 河呂大森神社 (千草の大森神社より古い)

参 道

本 殿

農村秋祭舞舞台(県指定重要文化財)

秋祭りで賑わう様子

(3) 岩野邊二宮神社



鳥居（奥に夫婦イチョウ）



本殿



神楽殿（農村歌舞伎舞台）前 獅子舞奉納



本殿の鞍馬

(4) 下河野八重垣神社



八重垣神社庭園(普通から)



本殿



農村歌舞伎舞台（いつでも中が見られる）



獅子舞奉納の切れ込み

(5) 河内中ノ宮神社



中ノ宮神社境内  
左は大ケヤキ（市指定文化財）  
右は大スギ（県指定文化財）



不思議な鳥居  
（三分の1が道路で隠れている）  
大ケヤキ根元の「力石」

(6) 黒土城宮五社神社



城宮全景



城宮五社神社参道入口



急峻にして長き参道



獅子舞奉納

(7) 鹿屋八幡神社（チャンチャコ踊りは民俗芸能文化財）



本殿



鹿屋チャンチャコ踊り



奉納子供相撲



鹿屋チャンチャコ踊り

(8) 西河内鍋ヶ森神社(両社いそぎ)



本殿



飯沼柳江川村奉納の西也いそぎ



丸丸ら歌治奉納の鞍馬



子供神輿運行の様子



### 3 お塚さん

(1) 大森(宇野)のお塚さん  
(宇野政頼主従墓所)



町内に残つた「お塚さん」のうちで最も有名な「千種お塚」は、大正八年(一九一九年)五月九日、赤松に攻め込まれた山崎長水城主宇野政頼主従が落ちたのが、此地千種大森の政頼成の長作新免氏を助けた行軍であったが、折からの洪水で千種川を渡る事ができず、対岸の山の岩から橋をたどり千種川を渡る事ができず、逃遁を遂げて自刃、後に建立された五輪塔は、今も長水城を的として立っている。

(2) 黒土のお塚さん



教信上人墓所

西蓮寺

親鸞や法然が尊崇してやまなかったという「教信上人」は、西国での布教活動の帰途、千種で客死された。以来、千種の人々は「西蓮寺」を建立し、春に「千種念佛」を行い、上人の遺徳を偲んでいる。昔は参列客が3千人以上にもなり、大変な賑わいがあったという。



西蓮寺参道

(3) 西河内のお塚さん(伝佐藤盛世墓所)



西河内の村に入ると左手に3体の塚が目に入ってくる。岡山や鳥取県境に近いこの村は、古来から製鉄や炭焼き及び木地師などを生業として営んでいた。製鉄等での功のある佐藤盛世という人物の墓であるという言い伝えがある。平成となった今も、村人は親しみを込めて「お塚さん」と呼んでいる。

### 4 一里堂



千種の南端、下河野村の入り口に立つ「山里千種」のシンボル。間口4.1m、奥行4.1mの堂葺宝形造(かやぶきはうぎうづくり)で、江戸時代から旅人の休憩所として親しまれてきた。中には五体のお地藏様が祀られて、殊の無事を祈って下さっている。

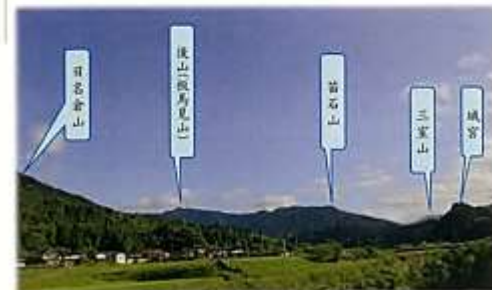


風花を  
揺り入れてや  
一里堂

昔は、一里堂の南にある「塩地峠」を越えて、千種からは「千草峠」や尻が、千種へは塩・醤油・酒・油などが運ばれていた。「一里塚」は全国各所に今も残っているが、こうやって「一里堂」が大事に残されている村は珍しい。  
是非、一度千種にお越し下さい。



### 5 千種の山々



七野から千種の山々を望む





鉄山師の孫・平瀬徹斎、宝暦4年(1754)『日本山海名物図會』を出版。大阪府立図書館等の蔵書。「世界記憶遺産」への呼び声高し。江戸期日本の諸産業・文化を伝える百科事典なり。



## 9 たたら製鉄学習 (千種学講座)

平成9年、天児屋鉄山跡に「たたらの里学習館」が造られ、古代以来1500年以上にわたって千種の地で行われてきた「たたら製鉄」の歴史について、各種の製鉄用具や「たたら場」の模型及びジオラマ等を見ながら学ぶことができるようになった。以来、千種中学校では「たたら製鉄学習」に取り組み、千種を愛し、千種に誇りを持つ教育「千種学講座」が連続と受け継がれ、今年で18年目を迎えている。この項では、その取り組みについて紹介する。

### (1) 砂鉄の採集

千種中学校では、平成9年以來夏休み前に「一人1kgの砂鉄を集めてくること」という宿題が2年生に出されている。以下の写真は昨年のものであるが、千種小学校5・6年生も加わることになった。各自大きな磁石で砂鉄を集めている。



### (2) 鉄穴流し (かんながし)



「鉄穴ながし」とは、本来山中で「山砂鉄」を採集するために山の斜面に大きな溝を作り、水を通して山土と砂鉄とを分離する作業工程を言うのであるが、千種中学校では、夏休み中に生徒が川で採集してきた「川砂鉄」を写真のような「樋(とい)」に水と共に流してゴミや砂を取り除き、より純度の高い砂鉄とする工程を現在「鉄穴ながし」と呼んでいる。この工程で再度集められた砂鉄は、右の写真のようにして何日間も天日で干して乾かし、10月に「たたらの里学習館」で行われる「たたら製鉄学習」での本番に臨むのである。

### (3) たたら製鉄実習 (於：たたらの里学習館)



最後に、私たちが中学2年生の時に取り組んだ実習の  
成果や概要についてまとめておきます。

- |           |                   |
|-----------|-------------------|
| ①実施日      | 平成23年10月18日(火) 晴れ |
| ②場 所      | 千種町西河内式見屋たたら公園    |
| ③参加生徒     | 栄業市立千種中学校2年生39名   |
| ④講師       | 栄業鉄を保存する会 5名      |
| ⑤大入れ      | 午前8時55分           |
| ⑥砂鉄投入開始時刻 | 午前9時14分           |
| ⑦使用した砂鉄の量 | 51.0kg            |
| ⑧使用した木炭の量 | 75.6kg            |
| ⑨砂鉄投入採取時刻 | 午後2時27分           |
| ⑩「卸出し」の時刻 | 午後3時40分           |
| ⑪「卸の重さ」   | 約15.25kg          |

## 10 千種太鼓について

本校のアクティブコースは、学校設定教科  
「アクティブ」の中で、和太鼓を始め、陶芸・木工・写真・地域貢献等の授業を展開  
している。特に、和太鼓は地域の伝統芸能  
「千種太鼓」の伝承を目的として懸命に取り組  
み、近隣の施設等で時時公演を行っている。



## アクティブコース和太鼓公演

(文化祭・光都学園・ちくさふれあいフェスタ)



ご高覧いただき  
ありがとうございました。  
四季折々の自然豊かな  
千種へ  
是非お越しください！



## 【写真で見る千種のお祭り①】

### 河呂大森神社



宵宮参道竹筒灯籠



本宮農村歌舞伎舞台

### 千草大森神社



子供神輿町内巡行



中学生神輿勇壮辻廻



(3) 千種学教材「千種川大水害の記録(昭和38年7月11日)」

この教材は、昭和38年当時の写真や新聞記事を基に、現在の様子と比較したものである。また、平成21年8月の豪雨災害についても取り上げ、千種町が繰り返し水害に見舞われてきたことに光を当て、防災意識を喚起することを目的としている。

## 千種川大水害の記録

— 昭和38年7月11日 —  
(平成21年8月豪雨災害の記録等も含む)

兵庫県立千種高等学校

## ハザードマップ (兵庫県)

## 千種町中心部

地図データ提供：ZENRIN

## 千種川と岩野辺川の接合地点

(荒神橋から撮影)

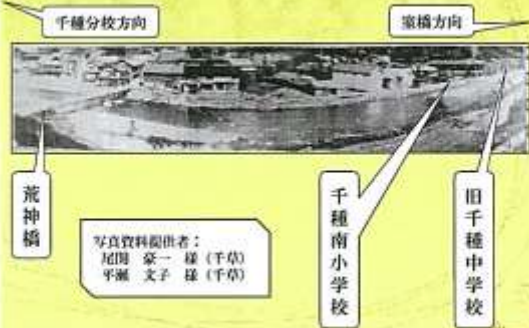
## 千種町災害略史

(『千種町史』より抜粋。明治以降、風水害等)

- ・明治13年7月1日 風水害・田畑流出
- "  9月15日 風水害
- ・明治18年7月 水害
- ・明治21年 洪水 橋4カ所・田畑流出
- ・明治23年9月17日 大水害 各所堤防破壊・田畑82町余破壊・人家流出
- ・明治25年 洪水 橋全滅・田畑3町歩流出・冠水35町歩
- ・大正13年9月1日 洪水 田畑5反流出(他、別表に橋7カ所流出、堤防破壊17カ所)
- ・昭和3年6月 台風被害あり

- ・昭和9年9月21日 台風・水害 家屋全壊14・半壊3 道路決壊5カ所・橋梁流出7
- ・昭和20年10月 大洪水 雨量 10月8日 96mm/m 9日 66mm/m 10日 101mm/m 村内の橋全部流出、死者2名、家屋流出2戸、千草部落公会堂流出
- ・昭和26年10月14日 ルース台風 家屋半壊2戸、田畑250石減収、山林の倒木2500本
- ・昭和38年7月11日 7月10日・11日の両日に240mmを記録 眞西橋(鉄筋コンクリート)以外の橋全部流出 死者0 災害救助法・激甚災害指定 千種南小学校・千種中学校臨時休校5日間

### 水害以前の千種川周辺 (昭和37年頃)



写真資料提供者：  
尾関 泰一 様 (千草)  
平瀬 文子 様 (千草)

### 水害前と水害後の荒神橋



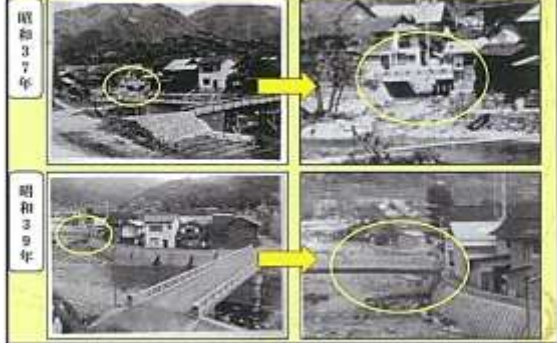
昭和37年  
写真に写る荒神橋 (左側)  
は、昭和35年に架け替え  
られたばかりだった。

昭和39年  
荒神橋周辺の通り工事後の  
様子についても注目して下  
さい。

### 現在の荒神橋



### 水害前と水害後の真西橋



### 旧真西橋竣工式の様子(昭和21年)



写真：『千種町史』p.1091より転載

「唯一残った真西橋が問題になった。この橋は昭和20年水害の後  
つくられた鉄筋コンクリート橋だったが、中央に大きな橋脚があり、  
それに流出した木材やごみ等を引っかけて、水をせき止め、  
かえって水害を大きくしてしまっ。その反省でこの橋は破壊し、  
現在の橋脚のない橋がつくられた。」(『千種町史』pp.1090-1091)

### 大水害当日等の記録写真

(千種町職員の方が撮影)



真西橋 (消防団員活動の様子：千種町史掲載写真)





現在の道西横（千草駐在所前で撮影）



岩野辺川の氾濫（中央奥に正福寺：町史掲載）



現在の給食センター前あたり  
（町史掲載写真）



同じ場所から岩野辺方向を見る



現在の千草交差点から西方向を見る



千草交差点西約70m地点から見る正福寺



喜多川橋付近の様子



千草町史掲載写真  
（「北川附近」との説明書き）





正福寺に迫る激流



正福寺裏手付近



現在の正福寺（筑西橋から撮影）



奥田商店通りから  
三室山方向を見る  
（奥に千種分校）



もう少し千種分校に  
寄った地点



同じ地点から見た現在の千種高校、そして三室山



奥田商店街の様子  
（町史掲載）



現在の奥田商店街三岔路



商店街上町方面の様子  
（木梨商店付近から北の方向；  
町史掲載）



同地点現在の様子  
（右手に木梨商店、  
奥に西兵衛信用金庫）



商店街中町の様子  
(内海茶屋前：町史掲載)

前方に見える高い橋は、消防団が  
作った避難用のロープ。住民は、  
このロープを使って激流の中を多  
ぎ、避難した。



同地点現在の様子  
(右端が商工会、奥が大通り広場)



商店街中町の様子  
(郵便局周辺：町史掲載)



同地点現在の様子  
(奥に郵便局が見える)



水浸しの旧千種中学校  
(本館、北側校舎)

→ 北



旧千種中学校跡地(B & G跡地)  
から西山方向を撮影



旧千種中学校に迫る激流  
(南側校舎：町史掲載)



旧千種中学校跡地(B & G跡地)  
から三宝山方向を撮影



架橋流出後の城宮方向  
(町史掲載写真)



城宮方向  
(少し北寄りの位置から)



現在の城宮、そして室橋



### 災害当時の学校施設等

(『千種町議会45年のあゆみ』より転載)



昭和35年頃の町立基小  
(千種南小学校)

山崎高等学校千種分校

旧千種中学校北側校舎(本館)

千種町農業青年研修所

旧千種中学校南側校舎

### 当時の新聞記事等



神戸新聞 (昭和38年7月11日)

神戸新聞 (昭和38年7月12日)

清瀬一郎衆議院議員 (山崎町の方: 仮の室橋上で視察中)



神戸新聞 (昭和38年7月19日)

広報ちくさ (昭和39年2月20日)

### 清瀬一郎先生激励の言葉

(昭和38年7月18日千種町役場にて)

「水害の大きさにもかかわらず、一人の死者も出さなかったことは町幹部の適切な措置によるものと思う。さらに同町は無疫地区で伝染病の発生が心配されていたが、県や町幹部のすばやい処置で発生を未然に防いだことは賞賛に値する。今後とも復旧工事に全力をそそいでほしい。」



(神戸新聞 昭和38年7月19日記事より 写真:ウィキペディアより)

### 平成21年8月豪雨災害の記録



千種中学校根性坂の様子  
(平成21年8月11日昼  
本校事務室撮影)

千種中学校法面崩落  
(『平成21年自然災害(自然災害)の発生による被害の記録』  
平成21年8月11日町議会発行から転載)

### 千種高校校長公舎被害の様子



千種高校校長公舎外観  
(背景に千種高校)

校長公舎内部の様子  
(平成21年8月11日昼撮影)



### 千種町内各地被害の様子

(千種町社会福祉協議会記録写真)



### 千種災害対策プロジェクト

平成25年度 活動の記録



### ハザードモデル製作 1



測量講習会



取材を計る



模型製作指導

### ハザードモデル製作 2



合同製作状況

### ハザードモデル製作3



### 現在は商店街空き店舗 「千高街の駅」で常設展示中



### 木造仮設住宅1 (10月23日)

- 部材製作 (千種中学校・千種高校)



大工棟梁の指導



断材の加工



インパクトで加工

### 木造仮設住宅2 (11月6日)

- 建前リハーサル



### 地域連携総合防災訓練(11月23日)



### 地域連携総合防災訓練2





## 提 言

千種高校・千種中学校は地域社会の傾り  
(地域災害拠点としての学校の存在価値)

- (1)学校までの避難ルート  
→河川増水時、夜間などの悪条件でも避難できる
- (2)避難施設としての学校施設整備（ハード）  
→緊急事態に対応できる設備・備品など
- (3)早期に安全に避難できるルール作り（ソフト）  
→住民合意による避難ルールの確立・明示・認識が求められる
- (4)中高生にもできる社会貢献のあり方  
→防災・減災・災害時の救援活動・被災後の生活復旧等についての学習・訓練を継続する

## ご静聴

ありがとうございました。

平成26年11月2日（日）  
千種高校地域連携防災学習会

## 【写真で見る千種のお祭り②】

### 鷹巣八幡神社



チャンチャコ踊り

### 黒土城宮五社神社



参道入口



獅子舞奉納

### 岩野辺二宮神社



神社境内



獅子舞奉納



## 4 「しそウトピックス」に見る「千種の学校園」



写真と気の利いたコメントで宍粟市内の出来事を伝えてくれる「しそウトピックス」。千種の話も毎月取り上げられており、特にちくさっ子たちの姿を心待ちにしている人も多い。平成26年度『広報しそ』に登場した千種町内学校園の動きを振り返ってみよう。

**休耕田を活かそう** 6/3 千種町七野

『休耕田を活かす会』の皆さんと千種小学校3年生18人が一緒に花の種まきをしました。この作業は同会が元気づけんき大作戦事業を活用して行ったもので、参加した全員は稲ほどの年の離れた子どもたちとの作業に嬉しそうなお表情を浮かべていました。

**シュレーゲルアオガエルを発見** 8/20 千種町千草

『体験から学ぶ入道講座 まなびつとクラブ2014』に参加した千種小学校の児童たちがセンターちくさ周辺の里山などでカエル調査をしました。この日は県の絶滅危惧種に指定されている「シュレーゲルアオガエル」を見つけ、児童たちは大興奮でした。

**古の製鉄法 たたらを学ぶ** 10/10 たたらの里学習館

古来の製鉄法「たたら製鉄」を千種中学校2年生が体験しました。たたら製鉄は田から砂鉄を採取し、炉の中に砂鉄と木炭を交互に投入して輪(ふいご)と呼ばれる装置から風を送って鉄を作る技法です。1000度以上に達する炉の炎と真つ赤になった鉄に生徒たちは驚きの声を上げていました。

**幼保小中高合同ふれあい文化祭** 11/2 千種小学校

千種町内の保育園から高校までの全てが合同で行う「幼保小中高合同ふれあい文化祭」が開催されました。歌や合奏、劇などこれまでの練習の成果を発揮しようと、子どもたちは一生懸命がらばりました。

**音楽って楽しい!** 11/12 千種小学校

兵庫教育大学の吹奏楽部が千種小学校の児童と交流会を行いました。「千種小学校」と「千種まちづくり推進委員会」と「ちくさっ子を育てる会」が連携して音楽の楽しさを知ってもらおうと開催されたものです。子どもたちは生演奏と一緒に歌って楽しかったと話していました。

**丸太卓球を楽しもう** 11/15 千種中学校

宍粟市スポーツ推進委員会千種支部主催「第3回丸太卓球大会」が開かれました。ヒノキを輪切りにしたラケットを使用し、1チーム3人、7点先取の3セット制で競います。選手らは硬い表面のラケットに苦戦しながらも、年代を超えたコミュニケーションを深めていました。

**しめ縄作り** 12/5 千種町岩野田

千種町内の小中学生がしめ縄作り挑戦しました。地域の人々との交流と伝統文化を学び継承することを目的に行われているもので、指導した人たちは「子どもたちとワイワイ言いながら作るのが楽しい」と話していました。市内の他の学校でもしめ縄作りが行われました。

**真剣勝負 かるた会** 1/6 センターちくさ

千種文化協会主催の「新春かるた会」が行われ、いろはかるたと百人一首で競い合いました。参加した生徒や児童たちは真剣なまなざしで札を探し、自分の目の前の札が取られると悔しがりながら日本伝統の文化「かるた」を楽しんでいました。

**一生懸命走りました** 2/5 千種町千草

中学生と高校生が一斉に走る中高連携マラソン大会が開催されました。この大会は、男女、中高全生徒が同時にスタートし、町内中心部を一列するというもので、沿道には千種小学校児童をはじめたくさんの方が応援に駆け付けました。その甲斐もあり、ランナーは全員完走しました。

**それぞれの夢に向かって** 2/27 千種高校

市内3つの高校で卒業式が行われ、総勢352人がそれぞれの夢に向かって羽ばたいていきました。卒業生が口にした「ありがとう」という言葉は、どんな言葉よりもこれからの活躍を期待させてくれました。皆さんの人生に幸多からんことを祈ります。

**千種ゆかりの2人 スキー全国大会に出場**

千種高校1年の岸本壮弘(たけひろ)さんと宍粟消防署千種出張所の土井康平さんが、3月10日から15日にかけて行われるスキー全国大会に出場します。

岸本さん(左)は「第52回全日本スキー技術選手権大会」(長野県白馬村)、岸本さんは「第27回全国高等学校選抜スキー大会」(北海道高良野町)にそれぞれ出場します。全国レベルの選手が集まるなか、宍粟、そして兵庫県代表として活躍を期待します。

## 5 おわりに

総合地域学習「千種学」は、平成23年4月に初めて開講し、本年度で4年目を迎えました。4年ではありますが、「千種学」の中心核である「たたら製鉄学習」の歴史は平成9年に遡り、足掛け18年にもわたる一大事業となっています。今振り返ってその来し方を思う時、講師としてお世話になった数多くの地域の皆様に対しまして、唯々「感謝」という、その一言に尽きます。

この総合地域学習「千種学」は、平成22年度千種中学校運営協議会から「千種ならではの教育を推進して欲しい」という依頼を受けて、平成23年度の教育課程に「総合的な学習の時間」の一環として取り入れられることとなりました。生徒に故郷千種のことを知ってもらい、地域での体験活動を通して、千種の魅力に気づいて欲しいという地域の願いを受けて、地域の方を講師に迎えた「千種ならではの学習」がスタートしたのです。

初年度、この千種学の年間指導計画を作成するに当たり、講座内容の検討、講師の選定、日程調整をしていくうちに数多くの問題が浮上し、はたしてこの地域学習が実施できるか不安でした。しかし、地域の皆様方から温かい応援をいただき、講師を依頼する方々も快く引き受けてくださいました。「千種学」は、地域の皆様方のご支援によって段々と形を為し、回を重ね年を経るごとに厚みを増しながら、県下に誇れる実践として今日までの歩みを進めることができたのです。

千種中学校で始まった「千種学」は、千種小学校や千種高等学校でも徐々に実践が積み重ねられ、児童・生徒の心に「ふるさとへの愛着と誇り」を育む上で非常に重要な役割を果たしつつあります。千種町内全学校園の連携一貫教育を推進する「たたら里学園運営協議会連絡会」の場でも、千種が誇る教育財産として「千種学」の持つ価値に着目し、「千種の教育」の柱の一つとして捉えていくことが語られています。その意味において、今年度高等学校において千種学関連の二つの教材開発が行われたことは非常に素晴らしいことではないでしょうか。

今後、この経験を如何に千種のまちづくりに繋げていくかということが大きな課題ですが、将来の千種を担う中高生には、常に「ふるさとの発展」ということを念じてもらいたいと思います。

千種学を受講する生徒の皆さんには、その目的にあるとおり、千種の自然、歴史、産業を学び、千種に誇りを持ち、千種を伝える力を身に付けて欲しいと思います。そして、将来千種を離れることがあったとしても、千種学の体験が故郷千種への思いを繋げてくれることを願っています。

「千種学」教材開発研究会顧問 鳥居 政義

---

平成26年度  
総合地域学習「千種学」講座の記録

平成27年3月15日 印刷  
平成27年3月22日 発行

編集・発行 「千種学」教材開発研究会

---